

令和3年度 第2回 電気設備科 学校関係者評価委員会

【出席者】

学校関係者評価委員（敬称略 順不同）

岩本 浩一	株式会社キンコー（委員長）
乾 克彦	大阪電業協会
高松 光示	中央電設株式会社
渡邊 隆行	株式会社セイコー

本学教職員

木村 誠	学校長
松本 哲也	司会・情報エンジニア科・総務事務ユニット班長
上田 良和	教育改善ユニット兼電気設備科班長
浅野 勇介	電気設備科2年担任
中本 智	就職指導ユニット主任

【日時】 2022年3月14日 10時00分～11時00分

【場所】 大阪電子専門学校 3階 コワーキングスペース

- 【議案】
1. 教育方針案 報告及び議論
 2. 自己評価結果 報告及び議論

【議事録】

1. 教育方針案 報告及び質疑応答

教育方針に関し報告を行い、問題の指摘は無かった。

2. 自己評価結果の報告及び質疑応答

当校は「人技両立」という教育理念を掲げており、考え方としては人格的な部分、技術的なテクニックの部分、その両方を持っているエンジニアを育成するという教育となっている。カリキュラムや実習時にもその点に重きを置いて実施してきた。具体例でいうと、本年度は電気設備科の実習授業内で、救命講習を早い段階で学んだ。人として他の人を助けるという部分を学んでもらえたのではないかと考えている。

委員より、「オンライン授業に関して、学生個々で自宅の環境が違うだろう。オンライン授業が必ずしも良いとは思わないが、今後にも必要になるだろう。」というご意見をいただいた。当校からは、「オンライン授業の捉え方を変えるべき。最初は感染対策として始まったが、今後は通常授業の一環としてブラッシュアップしていく。」とお応えした。

当校より、企業が求める学生像について質問したところ、「先頭に立つよりも、協調性、周りを見る、みんなの話を聞くということに長けた人材が欲しい。

親分である必要は無い。学校で、みんなと関わりながら、つながりながら、1つの物ができていくというようなプロセスが経験できる仕組みがあれば、大阪電子専門学校の一つの魅力になるのではないか。」というご意見を委員よりいただいた。